

## お別れのことば

—東正彦氏前夜祭（お通夜）弔辞—

佐々木 享

東正彦さん。

私はいま、あなたより13歳も年長の私がお別れのことばを述べなければならない悲しみに、打ちひしがれています。

思い起こしてみると、あなたは1968年8月、生涯大切にされた民間教育研究サークルの一つである技術教育研究会の第1回大会に参加されました。その3月に岩手大学を卒業したばかりの、さっそうとした青年教師でした。

東さん。あなたはそれから、夏の技術教育研究会大会には、毎年欠かさず参加されました。

あなたと私のたしか二度目の出会いは、翌69年1月に熊本市で開かれた第18次の教育研究全国集会に、あなたが岩手代表の正会員として参加された折でした。あなたの報告は、技教研では扱いにくい教材の一つといわれていた「熱機関の学習」に正面から取り組んだ充実したもので、新卒1年にもならない教師の報告と知って参加者を驚かせたものでした。

岩手で教師となったあなたの回りには、「技術教育を語る会」というサークルがあり、すぐれた技術科の実践者がたくさんいました。その先輩たちが築いてきた成果とそのエネルギーな活動スタイルに学びながら、あなたは、子どもたちを大切に、また、人類がつくりあげてきた技術の成果をしっかりと学ばせようとする実践家として、急速に成長しました。技術教育研究会の夏の大会や、岩手の冬の民研集会で、あなたは、いつも、少しはにかみながら、しかし主張すべ

き要点をきっちりとのべました。あなたの年ねん進歩する実践報告に接することは、私たちの楽しみでした。

1978年に、和光学園が技術科の教師をもとめていると聞き、あなたに上京をすすめたのは私でした。あなたは、この民主的な学園の中で、その優れた資質をいっそう伸ばせるに違いないと確信したからでした。

東さん。

愛する奥さま、幼いお子さんを連れて上京されたあなたは、当初、はじめて接する都会の子どもたちに多少のとまどいもあったようでしたけれども、驚く程急速に、中堅の技術科教師として成長されました。その達成点の数々は、多くの実践報告として遺されました。

あなたは、いわゆる器用な教師ではありませんでした。どちらかといえば不器用なのに、誠実に子どもたちに接し、学問の成果には謙虚に学びながら、しかし、これと思った新しい教材には大たんに取り組むという姿勢を、最後までくずしませんでした。

学園を休職し、病勢がすすんでいることはある程度わかっていた筈なのに、ことしの8月に、教材の調査と資料の収集のために、奥さまを乗せて福島まで車をとばしたとうかがって、私はただ頭が下がるばかりでした。病床での苦しい闘病生活に入り、意識のある最後まで書きつけておられたノートに「技教研の会報が読みたい」とあるのを見て、私は胸がつまりました。

生徒を大切に、授業の質を高める鍵は徹底した教材研究にあると確信していたあなた

の姿勢、仲間とともに生成するためにサークルを大切にされたあなたの誠実な行動に学びながら、私たちは、あなたの果せなかったおもいを継承し、発展させたいとおもいます。

東正彦さん。安らかに眠り下さい。

1992年12月17日

長年の友人の一人として

(技術教育研究会代表委員)

——東正彦氏前夜祭（お通夜）弔辞——

## お別れのことば

森 下 一 期

東さん、あなたと初めて言葉をかわしたのは、15年前の1月を半ばを越した頃、職場へおかけした電話だったと思います。私が急に和光中を離れることとなり、無理を承知でお電話をしました。教員の異動には遅すぎる時期でしたが、あなたは和光中での実践に意欲を示してくれました。

使者として、空路、三沢に飛びました。あなたは空港まで迎えにきてくれました。あなたの車でお宅に向かったのですが、その遠いこと、一時間だったか、二時間だったか。こんなに遠いところに、いとも気軽に迎えに行くと言ってくれたあなたのおおらかさに驚かされました。車の中では、和光中での技術科の実践について、言葉切れることなく語り合ったと思います。

お宅の近くなって、四つ角にさしかかると、雪の壁がその角にそびえ立ち、粉雪が渦となって巻き上がっていました。何か、雪国での生活の厳しさを感じたものです。生活の隅々にまで、冷たい雪が入り込んでくるのかと思いました。

そのような厳しさの中で鍛えられていらしたからでしょうか。あなたは、こうと決めたらひたすら実行する人でした。あなたの決意は、お宅を訪ねたとき初めて聞かせてもらったように思います。ご家族には、奥さん、お母さん、まだ幼い二人のお子さんがいて、遠

くはなれた地への赴任には多くの困難があるかに思われます。しかし、あなたはその困難点のどの一つも言わず、一家をあげて転居し、和光の技術科を担ってくれるという決意を語ってくれました。すばらしい実践家を後任に得て心からほっとしたものの、あなたが力を十分に発揮でき、期待にこたえる場を紹介したことになったのかと責任も感じました。

あなたは和光に赴任してから、全身で技術科の実践に取り組みました。朝早くから、夜遅くまで、それこそ全ての時間を実践に捧げたのではないでしょう。広い農地の借りれば、その管理を一手に引き受け、和光の子どもたちに農業技術と農業労働を保障しようとしました。教材準備に真夜中まで取り組んでいたこともしばしばありました。自分の体を通して技術の科学の重要性に気づかせ、認識にまで高めようとするあなたの方法論は、至るところで適用されました。中でも、糸を紡ぎ、織り機を作って、布を織る実践にそれがよく表れています。東京の子どもたちが労働にもふれながら、機械の重要性を認識し、技術の科学を学んで行けるように、様々な試みを重ねて典型的な教材にしあげて行きました。本物の織り機で織る経験をさせるために、あちこちから借りてきた何台かの織り機に夜中までかかって事前に何百本という縦糸